第14回 きらり川口ジュニア議会

8月22日、市立中学校27校、市立高等学校3校から選出された51人の議員が集い、通常の市議会さながらに、市長をはじめ市側理事者に市政の現状とさまざまな課題について質問しました。その後ジュニア議会の総意として「川口に住んでよかったといえるまちづくりの決議」を全会一致で可決しました。

ジュニア議員（敬称略）

金子 友哉　林 魁冴
森 雄彦　吉田 将人
浅倉健一郎　髙田 真衣
齊藤 豪　栗田 瑞希
岡本 諒介　石澤 杏佳
井上 雄介　田中 麻弥
堀江 優友　長坂 蒼司
関 宏太　平林 未宇
雨谷 伶司　和田 周子
川畑 輝明　飯山 諄
田嶋 みよ　瀬山 直聡
横溝 滉太　石川 千夏
小池 一緋　綱川 梓
若井 啓明　関口 美希
平林 政城　伊賀 太一
山﨑 理子　守屋 恵喜
船越友己也　本間 政人
大山 由乃　杉本 翼
加藤 力　小原ひなた
菅原 直生　仲田 亜美
臺 知紀　正木 直
安藤 樹音　植竹 史晴
並木礼央也　栗原 誠矢
藤田 志穂　柴垣 遥
天池 成久　堀 野笛
大山 力哉

質問・答弁

Q 今後、市の良さを活かし、日本全国、世界へもっとアピールするべきだと考えますが、どのように考えていますか。

A 現在本市では、10年に1度、オランダで開催される国際園芸博覧会「フロリアード」に、川口市の農業者が日本を代表して現代的和風庭園を製作・展示を行い、「川口安行の植木」を世界にPRしているところです。市内企業が海外進出するための支援を積極的に行い、市内の産業や歴史的文化を観光資源として活用し、さまざまな情報手段を活用して国内外に大いにPRしてまいる所存であります。

Q 市では学校以外の公共施設でこの夏どのような節電対策を行っていますか。

A 市の公共施設では、7月～9月の使用電力量を平成22年度比10%以上削減することを目指し、節電に取り組んでおります。各施設で照明や空調の徹底管理など、施設に応じたさまざまな節電対策を実施しているところです。

さらに本年は、公民館などの公共施設を「かわぐち暑さ避難所」として市民のみなさんに開放する取り組みも行っています。今後も節電にしっかりと努めてまいりたいと存じます。

議員提出議案

川口に住んでよかったといえるまちづくりの決議

近年、中高生が被害者、加害者となる犯罪を多く耳にします。最近ではいじめの問題が新聞やニュースでたくさん取り上げられており、同じ中学生として、とても悲しく、決して無関係だとは思えません。これらの犯罪や悲しい事件を防ぐには、絆を深め、温かい地域をつくっていくことが大切だと思います。

川口市は、昨年10月11日に旧鳩ヶ谷市と合併しました。人口も58万人となり、新川口市として一大都市へと発展している今、地域との交流がますます重視されています。そこで、私たちにできる取り組みの一つとして、あいさつ運動があります。

私たちの学校でも、毎朝、生徒会が中心となり、朝のあいさつ運動を行っています。最初はあいさつを返してくれない人が多かったのですが、毎日繰り返しているとだんだんとあいさつを返してくれるようになり、朝の雰囲気も明るくなりました。今は学校内だけの取り組みになっていますが、これが川口市全体に広がれば大きな交流につながり、まちの雰囲気も一層明るく温かくなるのではないでしょうか。また、地域のお祭り、ゴミ拾い、イベントなど、たくさんの人が協力して楽しむことで、さらに人と人とのつながりを広くし、大きな輪にしていくことができると思います。

このようなまちにしていくためには、私たち一人ひとりの努力と、川口を明るく温かいまちにしたいという強い気持ちが大切です。その一つ一つの気持ちが、やがて大きな力となり、地域のつながりも一層深まって、悲しい事件や犯罪のない川口市にしていかれることでしょう。そのためにも、まずは私たちの力で、あいさつにあふれ、いじめなどのない明るく温かい学校をつくっていきたいと考えます。

そこで、地域とのつながりを大切にし、気持ちの良いあいさつにあふれ、明るく温かい川口市を目指し、住んでよかったといえるまち・川口をつくることをここに決議します。

平成24年8月22日

きらり川口ジュニア議会

問い合わせ…指導課　☎048-259-7661～2　FAX048-253-6260